

電子情報工学科

Department of Electronics & Information Engineering



自分の思い通りに
機械を動かす面白さが
きつと味わえる

東朋テクノロジー(株)

電子システム事業部 設計部 勤務

坂梨 弘明さん (1994年3月卒業)

坂梨 弘明さんからのメッセージ

学びたい分野をバランスよく履修でき 社会で役立つ基礎知識を幅広く修得。

子どもの頃から機械いじりや電子工作が好きで、高校時代には雑誌を参考にパソコン周辺機器を作っていた私は、「他人が考えた回路ではなく、いつか自分で回路を設計したい」と思うように。そしてその思いは中部大学入学のきっかけとなり、産業用機器を制御する基板や無線装置の設計に携わる現在にも続いています。回路の設計といっても、目に見えず手に取れない“電気”を扱うため、凶面を起こし、試作したものが1度で思い通りに動かないこともあります。それでも何度も回路修正をしては基板の試作を繰り返し、理想の動きに近づけていく作業は、エンジニアとしての力の見せ所であり、完成したときの達成感を得られることがこの仕事の醍醐味だと思います。今の会社の特徴は回路・基板設計からマイコンのプログラム開発、ケース

設計まで、製品全体の設計を手がけていること。大学時代にコンピュータのハードとソフト、無線などの通信まで学びたい分野の科目を自由にバランスよく履修できたことで、各設計に必要な基礎知識を幅広く修得できました。電子情報工学の分野では技術の進歩は日進月歩で、お客様から新技術を探り入れたいという要望も多く寄せられます。ですからエンジニアにとって情報収集や新たな知識の修得は仕事のひとつ。私自身、大学は一度に多くを学べる貴重な機会だと実感したので、自発的に興味の幅を広げておくといいと思いますよ。



学びのキーワード

基礎教育

電気回路、電子回路、計算法など、電子情報工学の基礎を十分に修得。

多様な科目履修

ハード、ソフト、無線など、興味のある科目を自由にバランスよく履修。

研究室選択

多様な科目を履修したことで、興味の対象が絞られ、研究室選択のヒントに。

＜大学院修士＞

東朋テクノロジー(株) 就職
機械の中核となる
回路の設計者に!